

SIPフォーラム 2022

SIP第2期「智能化農機」実演会+シンポジウム

車両系ロボット農機を基軸とする

農作業のスマート化、そしてDX化

開催日時

12/15 Thu.

START 13:00 → END 17:00

実演会

農研機構 農業機械研究部門 附属農場
埼玉県鴻巣市境1389番地

シンポジウム

クレアこうのす 鴻巣市文化センター（小ホール）
埼玉県鴻巣市中央29番1号

SIPフォーラム 2022 事務局

070-3068-1917

sipforum2022@ml.affrc.go.jp

申込締切日 11/21 (mon.)

申込フォームURL <https://nws.stage.ac/sip-narosympo/register/>

定員になり次第締め切らせていただきます

無料
限定
150名



参加申込フォーム

SIPとは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設された国家プロジェクトです。

－開催に向けて－

SIP 第2期「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアムにおいては、生産から消費までの情報共有でバリューをつなぐスマートフードチェーンの構築により、我が国が抱える労働力不足や食料安全保障、輸出拡大などの社会的課題の解決を目指す取組みを進めてきました。スマート生産グループでは、デジタル技術を積極的に活用したスマート農業技術の実装を通じて抜本的な生産性向上、新たな営農モデルを構築すべく、遠隔監視による無人自動走行システムを開発してきました。本イベントにおいては、SIP 第2期(2018-2022年度)における遠隔監視型ロボット農機及びその支援技術等の到達状況に加え、併せてSIP 第1期(2014-2018年度)の成果として上市され、普及の緒に就く農業ソリューションなど、農業生産のスマート化に貢献する、最新の成果についてご紹介致します。

JR鴻巣駅東口から実演会場までシャトルバスを運行



実演会

timetable
13:00 - 14:00

ご挨拶 原田 久富美 氏

SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」
スマートフードチェーン研究コンソーシアム研究代表
農研機構本部 NARO 開発戦略センター長

実演会

- 1 ロボット田植機と無人軽トラックの連携による田植作業
- 2 ”ほ場周辺監視”型ロボットトラクタと
計量機能付きブロードキャストによる高精度可変施肥作業
- 3 ”遠隔監視”型と”ほ場周辺監視”型ロボットトラクタによる連携作業
- 4 遠隔監視システムと環境認識機能を付与した無人自動走行



実演会場からシンポジウム会場までバスで移動



シンポジウム

timetable
15:00 - 17:00

はじめに 小林 憲明 氏

SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」
プログラムディレクター

川合 豊彦 氏

農林水産省 大臣官房技術総括審議官
兼 農林水産技術会議事務局長

基調講演



路線バスの自動運転に向けた取組み、 現状そして課題

田口 貴之 氏
BOLDLY 株式会社 執行役員

講演

SIPによる“遠隔監視”型ロボット農機の社会実装化に向けた取組み



ロボット農機の高度運用に向けた 取組みと課題

八谷 満 氏
農研機構本部 NARO 開発戦略センター
SIP「知能化農機」グループリーダー



高度運用のためのロボット農機、 インフラの安全性

菊池 豊 氏
農研機構 農業機械研究部門
システム安全工学研究領域 協調安全システムグループ グループ長



知能化農機に適した基盤整備 およびデジタルマップの生成技術

松島 健一 氏
農研機構 農村工学研究部門
農地基盤情報研究領域 空間情報グループ 上級研究員



生産現場における ロボット農機の期待される導入効果

吉田 晋一 氏
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究専門官

モデレータ 茂木由香

終わりに 久間 和生 氏

農研機構 理事長

シンポジウム会場からJR鴻巣駅東口までシャトルバスを運行



ご来場時の注意事項

- ※ 当方で用意した無料送迎バス(シャトルバス)の運行時間は参加申込完了後にメールにてお知らせいたします。
- ※ 実演会場には駐車場はございません。シャトルバスをご利用にならない場合はタクシーまたは公共交通機関をご利用下さい。